岩見沢本部の北海道中央霊園

三笠の霊園に合祀墓 3万9千円で永代供養地

合祀墓地「結の苑」の完成予定図

【三笠・岩見沢】公益財団法人北海道中央霊園（本部・岩見沢市２東16、武田寛理事長）は近く、三笠市大里の同霊園内に、ひとつのお墓に多くの人の遺骨を埋蔵する合祀（ごうし）墓地「結の苑」（ゆいのその）を開園する。合祀墓地は全国的に広がっているが、空知管内では初めて。低価格で提供する方針で現在、予約を受け付けている。

少子高齢化を背景としたお墓の継承者不在や様々な事情で自分のお墓を持つことのできない人、身寄りのない人が年々増えていることから、道内では既に十数か所で合祀墓地が開園されている。中央霊園でもこうした時代の変化を踏まえ、建設することにした。

「結の苑」では、中央霊園が遺族に代わって園内の合祀施設に納骨し、遺骨の永代管理と永代供養を行う。利用料は民間では安くても10万円以上が相場だが、3万9000円の低価格で提供する。価格には永代使用料、永代供養料、納骨手数料、登録料、事務手数料などが含まれ、将来にわたって追加負担は一切ない。

合祀墓地は民間のほか、地方自治体でも建設する例が増えているが、「結の苑」では「納骨日の指定」「納骨の手立ち会い」「遺骨の引き取りサービス」など、利用者ニーズに合わせて民間ならではのサービスを行うのも特色となっている。

「結の苑」は100平方㍍の敷地に高さ3・3㍍、幅と奥行きが各2・5㍍の御影石製のお墓を設置。上部に北海道をイメージしたモニュメントが設置され、その真ん中に「中央」を意味する黒い玉を設置する。現在、仕上げの工事を行っており、20日までには完成の見通しだ。

「結の苑」の詳細は中央霊園の公式ホームページ（アドレスhttp://chuo-reien.com/）。問い合わせは中央霊園の管理事務所（TEL01267・3・1511）へ。【末永直樹】

けいざいナビ

建設業の玉田産業

無災害施工を誓う

協力会社含め150人参加 安全大会を開く

【岩見沢】建設業の玉田産業（玉田忠社長）は7日、サンプラザで安全大会を実施。協力会社を含め150人が参加し、本格稼働する各現場における無災害施工に向けての誓いを新たにした。

「環境保全と汚染の予防」「安全第一」を最優先とした快適職場づくりを基本理念に掲げる同社。安全大会には同社のほか、協力会社の代表、従業員らを合わせ約150人が参加した。

大会にあたり、玉田社長はハインリッヒの法則を引用し、重大事故の因子となるヒヤリハットの未然防止を呼びかけた。また、認証取得している労働安全衛生マネジメントシステム（オーサス）の運用に際しても「一人ひとりの強い心構えがなければシステムが有効に機能しない」とし、安全最優先の励行を全員に求めた。

このあと、美唄駐屯地司令の石橋克伸1佐による講話を傾聴。同社4部門の代表が環境・安全目標を示して環境、安全に関する行動指針の達成に理解と協力を求めた。

大会の最後には、同社土木部の山宮健弘さんが無事故無災害、環境保全への決意を宣言し、機運を高めた。【新田一寛】

安全大会であいさつする玉田社長

若いパワー！

森村　優佳さん(22)

「岩見沢の魅力を若い人たちに伝えたい」

「オフィス森村」代表

北星学園大を今春卒業し、起業の道を選んだ。事業内容は商店街のコーディネート。今夏には岩見沢市商店街振興組合連合会の「実践型インターンシップ事業」を手掛ける。「学生と商店街をつなぎたい」と意気込む。

札幌出身で、学生時代に岩見沢の商店街でインターンシップしたことで縁ができた。「札幌にはない人と人とのつながり、温かさがここにはある」。東日本大震災の被災地で活動したことも背中を押したという。

昨年は、自ら企画して女性向けに商店街の魅力を伝えるフリーペーパー「ゆあみ」を5回にわたって発行。「今度は社会人の立場で、岩見沢の魅力を若い人たちにどんどん伝えたい」と目を輝かせる。【末永直樹】

フロに注目！《96》

企業ファイル

生活環境の維持に貢献

合併処理浄化槽維持・管理 引っ越し後の片付けも

岩見沢　富樫清掃

合併処理浄化槽の維持・管理や一般廃棄物の収集・運搬を手掛ける富樫清掃（岩見沢市岡山町、目谷直樹社長）。浄化槽は定期的な点検を通じて正常に作動するよう努め、生活環境の維持に貢献。

一般廃棄物については近年、独居老人宅の引っ越し後の片づけにも取り組んでいる。今後も環境に関わる企業として、努力を惜しまず活動する。

「下水処理場がコンパクトになって各家庭に付いている。それが浄化槽だと思ってもらえればいいと思います」と目谷社長は話す。

岩見沢市内の処理区域内の水洗化率は98%。このうち公共下水道、農業集落排水以外の合併処理浄化槽の利用家庭は約1千戸で、同社はこのうち約200戸の維持・管理を手掛けている。

合併処理浄化槽は水洗式便所と連結し、し尿と雑排水を一緒に処理する設備で、微生物の働きで浄化して公共用水域などに放流する。同社は浄化槽法で年3回以上と定められている点検を、計測器などを用いて実施。浄化槽に空気を送るブロアーと呼ばれる機械などは、不具合があればその場で修理、調整することもあるという。

目谷　直樹社長

▽設立　昭和36年
▽資本金　350万円
▽従業員　22人
▽電話　22・0616

さらに、年1回以上、浄化槽の中身を全て抜いて清掃、汚泥はバキュームカーで収集し、文向台し尿処理場に運搬している。「浄化槽は生活から出るし尿や雑排水を適正に処理して生活環境の保全と公衆衛生の向上に寄与するもの。維持・管理は決して手の抜けない仕事」と目谷社長は力を込める。

岩見沢市の委託を受けている一般廃棄物の収集・運搬は、担当区域のごみステーションをバッカー車で巡回して実施。また、近年は不動産業者を通じて、独居老人宅の引っ越し後の片づけなどの依頼が年10件以上寄せられ、高齢化で年々増える傾向だ。通常業務で手一杯だが、極力対応しているという。

目谷さんは昨年9月に41歳で社長就任。今後の会社経営にかける意気込みをこう語る。

「環境に関わる企業として次の世代に最低限、今の環境を残せるよう、小さい努力を惜しまずに続けたい」。【末永直樹】

バキュームカーで各戸に出向き、汚泥を収集・運搬

ごみステーションから一般廃棄物を回収する従業員

岩見沢通運も安全衛生大会

無事故・無災害で輸送業務遂行を

【岩見沢】岩見沢通運（高橋博昭社長）は7日、いわなびで安全衛生大会を開いた。社員ら約80人が参加。安全に関する講演などに耳を傾け、無事故・無災害で輸送業務に取り組む決意を誓った。

道内の死亡労働災害のうち交通事故によるものは毎年3～4割占め、4日以上の休業災害は業種別で運輸交通業が最も多い。また労働災害は長期減少傾向だが、陸上貨物運送業でその傾向はみられないという。

高橋社長は冒頭のあいさつで「職場における安全について関係者一人ひとりが身近な問題として取り組んでほしい。荷主からの信頼と、自社は事故を起こさないという事故防止の理念を。安全なくして企業の繁栄はない」と訴えた。

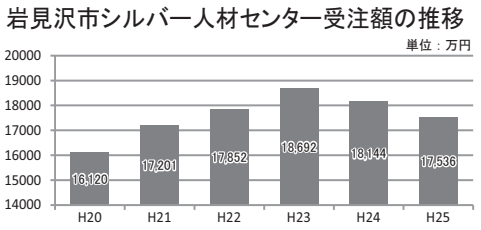
岩見沢警察署の上野秀樹交通課長と岩見沢労基署の山下洋典次長の来賓あいさつのあと、道トラック交通共済協同組合の岩泉伸吾交通推進部課長が「事故の瞬間に学ぶリスクと安全対策」と題して講演した。

安全衛生大会であいさつする高橋社長

なんでもデータ

増加傾向推移も24、25年度減少

岩見沢市シルバー人材センターの受注額



岩見沢市シルバー人材センター（富岡潤美理事長）の受注額は近年、増加傾向で推移してきたが、ここへ来て減少が続いている。本年度は前年度の受託事業を継続するとともに、受注開拓にさらに力を入れる方針だ。

受注件数は堅調で、20年度の3390件から21年度3627件、22年度3878件と増え、23年度は4178件と4千件の大台を突破した。24年度は3631件に減ったが、昨年度は112件増の3743件だった。

受注額は20年度の1億6120万円から21年度1億7201万円、22年度1億7852万円、23年度は1億8692万円にまで増加。ただ24年度は1億8144万円、昨年度は1億7536万円と2年連続の減だった。

昨年度の受注額の減少は一般家庭や企業からの草刈り、せん定の受注減のほか、学校プールの監視業務の削減が響いた。富岡理事長は4月の定時総会で「魅力ある信頼されるセンターに」と本年度の抱負を語った。【末永直樹】

支店・営業所長さんの横顔

雪屋媚山商店美唄支店長　山端　弘道さん

空調用フィルターの再利用、無料お試し期間中

雪冷房の設計やコンサルティングなどを手掛ける雪屋媚山商店（本社・札幌）。美唄市から緊急雇用事業の委託を受け、今年1月に茶志内にあるハイテクセンタービル内に事務所を開設し、半年近くが経過した。

美唄での事業は空調用フィルターのリユース（再利用）だ。高額な新品への交換でなく洗浄で対応するもの。現在、事業所を回りニーズを調べている。「新品交換と遜色ない。現在、無料のお試し期間中です」とPRする。

巨大な電力が必要なデータセンターの冷房に、美唄の雪冷熱を利用するホワイトデータセンター構想の推進役も担う。「除雪には市民1人1万円のコストがかかっている。雪を利用しない手はない」と熱っぽく語る。

千歳出身で高卒後に父が経営する建築会社に就職。美唄支店開設の1月に同商店に入社した。5月には美唄青年会議所にも入会。趣味は戦車などの模型作り。「手先が割と器用です」と笑う。37歳、独身。【末永直樹】

ふるさと新時代へ　いま、郷土と共に―
地域のニュース・情報満載・プレス空知…月契1,400円　購読・広告の問い合わせ　プレス空知 ☎(22)3700